

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ヨシア（シーランチ）		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 24名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちとの関りの中で会話を多く設け、気持ちを話す場や自分の気持ちを素直に表現して受け止められる場になっています。	小グループで話す場を設けていき、自分の気持ちを我慢せずに伝えることが出来るように大人が代弁していきながら、受容された経験に繋げていくことを職員間で話合いながら繋げています。	職員間で情報共有をしていますが、時間差で関わる場面も出てきてしまうので、出来るだけタイムリーに関わっていくことを取り組んでいます。
2	地域の小学校への支援に入っているので学校の様子の把握、クリニックやショートステイも法人内にあるため、子どもや家族への支援を広くサポートすることに繋がっています。	グループカウンセリングなど話せる場を設けているので、家族の困り感などを把握し、情報の中から必要な支援に繋がっています。	多職種との連携が必要になるため、情報が漏れないように伝達し支援に繋がるように継続して実施していきます。
3	子どもの気持ちや状況に合わせた支援をしています。集団活動だけでなく、個別での活動を取り入れていきながら大人や友達との関係に安心感や自信に繋がるように関わっています。ひとりひとりの個性を肯定的に受け止め大切にしています。	集団で意見が出しやすいようにその場で決めずにいろいろな意見が出ることを大切にしています。ネガティブな表現をする子どももいますが、表現をすることが出来たことを受け止めていきながら工夫して関わっています。	子どもによって特性、特質、子どもの動きが様々なので職員間で役割分担をしていきながら、関りに繋げていくことを引き続き取り組んでいます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童館などの地域の子どもとの交流がなく、事業所での活動になってしまっています。夏場は公園活動でちの小学校の子どもとの関りがあったりしますが、冬場の交流がほとんど出来ない状況になっています。。	以前は法人内でもバザーなど行っていましたが、コロナウイルス感染症の影響もあり地域での関りが積極的に行うことができませんでした。	地域の公園などでの交流なども踏まえた活動を考え、工夫していきたいと考えています。
2			
3			